

2015 年 2 月 24 日

**1. 基本情報**

- (1) 国名：マダガスカル共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アロチャ・マングル県
- (3) 案件名：アロチャ湖南西部灌漑整備・流域管理計画（Project for Rehabilitation of Irrigation and Watershed Management in South-West of Alaotra Lake）
- (4) 事業の要約：  
アロチャ湖南西部灌漑整備・流域管理計画（以下「本事業」という。）はアロチャ湖南西部地域 PC23 灌漑地区及びその上流域において、ラバカ（土壌崩落）対策、灌漑施設の改修及び水利組合の強化を行うことにより、コメ生産性の向上を図り、もって貧困削減及び経済成長に寄与するもの。灌漑施設改修（頭首工 2 か所、完成水路 3 系統及び付帯施設）、管理用道路改修（7 路線）等。

**2. 事業の背景と必要性**

- (1) 当該国における農業セクター／アロチャ湖周辺地域の開発の現状・課題及び本事業の位置付け

マダガスカル国の農業セクターは、総労働人口の 73%、GDP の 29%を占める重要産業である。特にコメは当国の主食であり、農民の 7 割以上が稲作に従事している。しかし、サイクロンや病虫害などによりコメの生産拡大が阻害されており、当国は、コメの消費量の約 10%を輸入に頼っている。また、農地の上流域の森林の荒廃により多くの土砂が下流に流入し、河川や灌漑水路への土砂堆積が問題となっている。かかる状況に対し、当国は全国の既存水田約 100 万 ha を対象にした灌漑整備事業と、灌漑地区上流域の植生回復・植林による持続的水源涵養事業を一体的に実施する国家プログラム「流域管理・灌漑国家プログラム」（PN-BVPI）を 2006 年に策定し、コメの生産基盤強化を図ることとしている。本事業は、当国のコメ生産の 10%以上を生産するアロチャ・マングル県において PC23 灌漑地区（15,000ha）及びその上流域を対象に灌漑施設の改修及びラバカ（土壌崩落）対策を行い、灌漑水の安定的な供給を可能にするとともに、水利組合の強化を図り、もって地域のコメ生産性の向上を図るものであり、当国の計画に合致している。

- (2) 農業セクター／アロチャ湖周辺地域に対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

現在策定中のマダガスカル共和国の国別援助方針（案）において農業・農村開発分野は重点分野として位置付けられている。我が国は流域管理（土壌保全）を行う「ムララノクロム総合環境保全・農村開発促進手法開発プロジェクト（PRODAIRE）（2012-2017）」並びに改良稲作技術の開発・普及及び水利組合連合の強化を行う「中央高地コメ生産性向上プロジェクト（PAPRiz）（2009-2012）」を実施している。

- (3) 他の援助機関の対応

世界銀行、アフリカ開発銀行、国際農業開発基金（IFAD）、フランス開発庁などが、

PN-BVPI 実施の支援を行っている。本事業は「食糧安全保障強化プログラム」に沿った案件であり、無償資金協力としての本事業の実施意義は高い。

(4) 本事業を実施する意義

PN-BVPI 等、当国政府の政策に寄与するとともに我が国の重点分野とも合致しており、また、気候変動対策における適応策に資することが期待されることから、無償資金協力として本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

### 3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的: 本事業は PC23 灌漑地区 (15,000ha) 及びその上流域において、ラバカ (土壌崩落) 対策、灌漑施設の改修及び水利組合の強化を行うことにより、コメ生産性の向上を図り、もって貧困削減及び経済成長に寄与するもの。

② 事業内容:

i. 施設・機材等の内容:

【施設】頭首工の改修 (2 か所)、洪水放流工の改修 (1 か所)、沈砂池の新設、幹線用水路の改修、管理用道路の改修、ラバカ対策等

ii. コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容

【コンサルティング・サービス】詳細設計、入札補助、施工監理等

【ソフトコンポーネント】灌漑用水の水管理に係る水利組合の能力強化

③ 他の JICA 事業との連携: 現在本事業対象地域では「ムララノクロム総合環境保全・農村開発促進手法開発プロジェクト」を実施しており、水利組合支援を含む灌漑施設管理及び植林やラバカ対策などによる灌漑施設保全のための流域管理に係る能力強化を行っている。また、「中央高地コメ生産性向上プロジェクト (PAPRiz)」の後継案件として「コメ生産性向上・環境保全プロジェクトフェーズ 2」を実施する予定。上記の技術協力と連携することによって総合的な農業基盤の整備の実現に貢献し、当該地域のコメ生産性の向上が期待できる。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制: 農業・農村開発省 (Ministère de l'Agriculture et du Développement Rural)

② 他機関との連携・役割分担: 協力準備調査にて確認

③ 運営／維持管理体制: 協力準備調査にて確認

(3) 環境社会配慮

① カテゴリー分類 ☐A ☒B ☐C ☐FI

② カテゴリー分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月公布) 上、セクター特性、事業特性および地域特性に鑑みて、環境への望ましくない影響が重大でないと判断されるため。

(4) 横断的事項

本案件は将来的に気候変動により降水量に変動が起こった場合も安定的に農業生産ができる可能性があることから、適応策に資することが期待される。協力準備調査にて相手側実施機関と認識を共有する予定。

(5) その他特記事項: 特になし

#### 4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

無償資金協力のマラウイ国「ブワンジェバレー灌漑計画」（2000 年）、モザンビーク国「ショクエ灌漑システム改修計画」（2002 年）の事後評価等では先方政府負担であった圃場の整備及び末端水路の整備が実施されなかったため、事業効果発現が阻害されたことが報告されている。また、有償資金協力の中国「黄河三角洲農業総合開発計画」（2000 年）では利用者にとって公平な水の配分及び水利費の徴収が行われない場合の不公平感が利用者に対する水利費負担の動機づけを阻害することなどが確認されている。こうしたことから、先方負担能力を協力準備調査にて十分確認する。また、完工後の施設利用に関しては、上記 3.（1）③に記載した技術協力プロジェクトと連携し、水管理組合の能力強化を行う。

以 上



## 事業対象地域位置図

